

事務事業	4021	ホームページ運営事業	担当課	まちの魅力推進課	担当係	まちの魅力づくり係
------	------	------------	-----	----------	-----	-----------

計画 画期 体計 系画	施策	18	町民と行政がともに課題解決に取り組むまちをつくる	予算 科目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	510	まちづくりへの参画を促進するための情報提供と情報共有を進める		款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	2	文書広報費
法令根拠条例等				個別計画			

実施期間	<input type="checkbox"/> 29年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	H14 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度
------	---------------------------------	---	------------	------------------------------------	-----	----

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	
志免町ホームページを開設し、行政情報の提供サービスを行うことにより、必要なまちの情報を誰もが入手できる環境を整備する。			ホームページコンテンツ管理システムリース料 1,882 千円	
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		主 な 事 業 費 の 内 訳		
ホームページの全体的な管理、運営。トップページ、バナーなどの作成及び更新。			千円	
コンテンツの作成及び更新は随時それぞれの担当職員が行い、担当課長の決裁後、まちの魅力推進課まちの魅力づくり係で最終チェック・承認を行い、ホームページに公開。担当職員へのアドバイス、指導及び研修の実施。			千円	
			千円	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	29年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ホームページの全体的な管理、運営。トップページ、バナーなどの作成及び更新。 各担当課作成したコンテンツの最終チェック及び公開。 担当職員へのアドバイス、指導。 職員対象のホームページ研修の実施。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	町民
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)	町が発信する最新の行政情報を容易に入手できる。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 年間ページ作成、更新数	ページ	7,758	3,216	3,400 (見込)	
イ 職員研修	回	1	1	1 (見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 人口	人	45,662	45,757	45,795 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
名称	単位		28年度	29年度	30年度
ア 必要とするまちの情報が入手できていると答えた町民の中でHPから情報を入手している町民の割合	%	目標	20.0	20.0	20.0
		実績	18.1	19.3	
イ 志免町ホームページへのアクセス件数	件	目標	1,700,000	1,900,000	1,900,000
		実績	1,857,173	1,692,695	
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	930	1,882	1,882	1,882	1,882	1,882
		合計(A)	930	1,882	1,882	1,882	1,882	1,882
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	5,316	4,068	3,368	4,379		
	トータルコスト(A)+(B)	6,246	5,950	5,250	6,261	1,882	1,882	

事務事業評価表(事業実施年度:平成29年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
情報技術が進展し、行政サービスにおいてもインターネットを活用した情報提供が社会的に望まれ、平成13年度庁内LANを整備したことを契機に平成14年度よりホームページサービスを開始した。	ホームページからの情報収集が一般化した。パソコンの保有率が高くなり、スマートフォンやタブレット端末などの情報機器の普及によって、インターネット利用者数は増加している。	情報を探す場合に、探しやすくしてほしいとの利用者からの要望がある。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		29年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成29年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	志免町のホームページを開設してから15年が経過し、職員のほとんどがホームページを活用した情報発信の必要性を感じ、実践している。次のステップとして文章の書き方や見せ方、利用者側に立った情報発信の方法等について研修等を行う必要があると感じている。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input checked="" type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	新人職員に対するホームページの作り方、見やすいページについての研修を行った。

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→) ② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	必要なまちの情報を誰もが入手できるという施策の目的を達成するため、インターネットを活用した情報提供は必須である。 いつでも誰でも町民に最新の行政情報を容易に知ってもらい、行政と情報を共有することが目的であり適切である。必要なまちの情報を誰もが入手できる環境を整備する。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	最新情報を適時に更新し、行政情報が充実した、町民などが必要とする情報を探しやすく、わかりやすく提供することができるホームページとすることで利用者は増える可能性がある。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	情報化社会の進展に伴い、各自治体のホームページが当たり前となっている現在、廃止した場合には、町民等が行政情報を得る機会が減少する。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	ホームページの構築業務委託業者の選択や企画提案内容により管理委託料を抑えられる可能性、3町(志免、宇美、須恵)共同の委託に他市町村が新たに加わることによる負担軽減の可能性がある一方で、インターネット通信利用の状況・動向に応じた機能追加・改善等にはコストが増える可能性もあるため。

(2) 29年度を振り返って(全体総括・反省点)

前年度にホームページのリニューアルを行い、デザイン変更を行った。今年度は各課が作成するページが構造的・視覚的・アクセシビリティ的に間違っていないかその都度チェックし、指導を行った。指導もあって少しずつ浸透しているようだが、アクセシビリティなどについてはまだ理解していない職員も多いように思われる。
--

3 今後の方向性(30年度以降の計画と31年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成30年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	ホームページでの文章の書き方や見せ方、利用者側に立った情報発信の方法などについて職員に教育する必要がある。また、アクセシビリティにおいては、必要なJIS規格に達していないページもあるため、アクセシビリティを踏まえた上でのページ作成を周知する必要がある。